

マーケットの動き（2020年4月20日～4月24日）

先週の米国国債市場は、金利が低下しました（債券価格は上昇）。需要不足を主因として米国原油先物価格が急落すると、歩調を合わせる形で米国債利回りも大きく低下しました。週末にかけて反発したものの、前週末対比では小幅に低下して終わりました。

投資環境見通し（2020年4月）

米国、欧州（ドイツ）ともに長期金利には低下圧力が働く

米国：金融市場の安定化に向けたFRBの国債買い入れなどのオペレーションが順調に進んでいることから、長期金利の低下圧力は続くと考えられます。一方で、政府の景気刺激策による財政拡大が見込まれることもあり、流動性が回復し、投資家の安全資産志向が後退する場面では、長期金利は上昇する可能性もあるとみています。**欧州：**ECB（欧州中央銀行）は、利下げについては見送りましたが、量的緩和政策の拡大を決定し、その後の緊急会合においてさらなる拡大を決定しました。戦略検証は一旦棚上げになったとみられます。ECBは当面、国債および社債の買い入れや資金供給を通じて金融市場の安定化を目指すと思われることから、ドイツ長期金利には低下圧力が働くと考えられます。

	4月24日	変動幅（騰落率）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
10年国債利回り（米国、%） （変動幅）	0.60	▲0.06	▲0.23	▲1.17	▲1.92
FTSE世界国債インデックス 除く日本、円ベース（騰落率）	474.71	▲0.26%	▲1.85%	1.04%	3.44%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

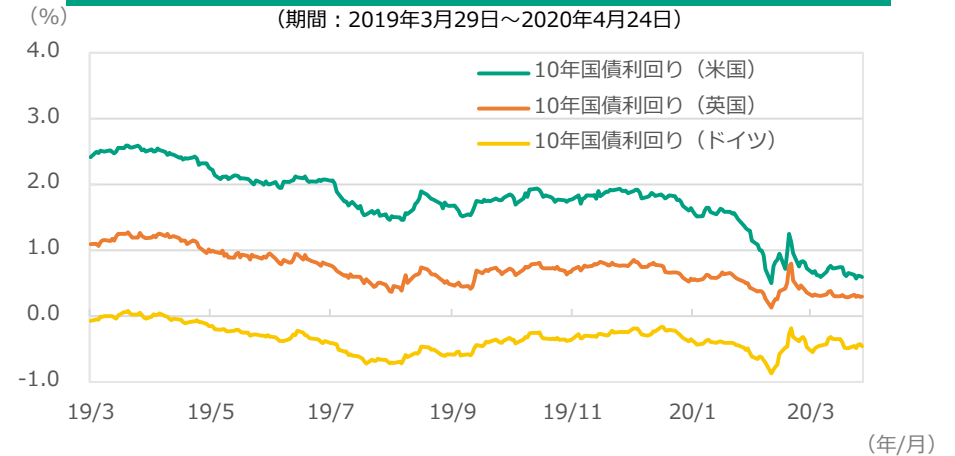
※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202004_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

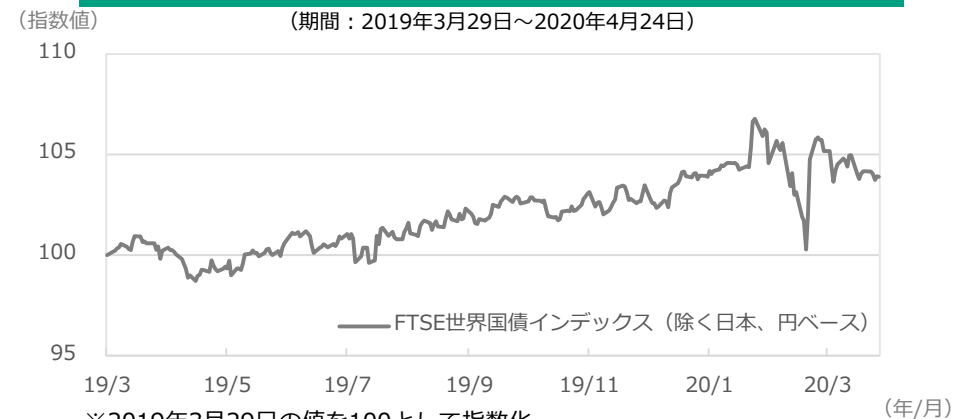
主要国国債利回りの推移

（期間：2019年3月29日～2020年4月24日）



FTSE世界国債指数の推移

（期間：2019年3月29日～2020年4月24日）



※2019年3月29日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成